

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
1	笹生委員	基本構想	策定に当たって	1	章の扉に記載されている福島第一原子力発電所の事故に関する内容は、冒頭に記載した方が、より喫緊の課題であることが分かりやすいのではないかと。	ご意見を踏まえ、基本構想の冒頭に「策定に当たって」という項目を作成し、基本構想の見直しの視点として東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故に起因する社会環境の変化を整理しました。
2	江口委員	基本構想	策定に当たって	1	「神奈川をとりまく社会環境の変化」及び「1政策展開の基本的視点」の冒頭に震災対策強化の必要性を打ち出してはどうか。	
3	江口委員	基本構想	策定に当たって	1	震災対策については、独立した項目にすることを検討する必要がある。	
4	笹生委員	基本構想	策定に当たって	1	放射能問題、除染、食品の安全確保など、県民の日々の生活を脅かす問題にも応えた総合計画を策定する必要がある。	ご意見を踏まえ、基本構想の見直しの視点として「放射能対策の強化」を明確に記載しました。
5	澤島委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	これまでは、地球温暖化への対策として原子力エネルギーへの転換が進められてきたため、「エネルギー政策の転換」という言葉が再生可能エネルギーへの転換を示すということが分かりにくいのではないかと。	エネルギー政策については、原子力発電に依存しすぎてきたという認識に立ち、原子力発電から再生可能エネルギーなどへの転換を図るという趣旨で記述しています。
6	澤島委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	「原子力に過度に依存しない」という表現は、「脱原発を可能な限り進める」に修正してはどうか。	この記述については、福島第一原子力発電所の事故により、原子力発電に依存しすぎてきたエネルギー政策を見直さなければならない状況であることを表現したのですが、安全・安心なエネルギーの確保に向けて、再生可能エネルギーの導入促進などに取り組んでいきます。
7	齋藤委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	「エネルギー政策の転換に取り組み、地球温暖化への対応を図ります」にある「原子力に過度に依存しない」を「原子力にできるだけ依存しない」に、もう一步踏み込んだ修正をしたらどうか。	
8	齋藤委員	基本構想	政策の基本方向	11	「エネルギー政策の転換」にある「再生可能エネルギー」は「自然エネルギー」という馴染みのある表現に修正したらどうか。	「再生可能エネルギー」は新エネルギー法の定義により、自然エネルギー以外の再生可能エネルギーも含む表現として記述しています。
9	笹生委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	県民の関心は、くらしの安全・安心の確保にあるため、「くらしの安全・安心を確保します」を、「エネルギー政策の転換に取り組み、地球温暖化への対応を図ります」の次に記載したほうがよいのではないかと。	ご意見を踏まえ、政策展開の記載順序を変更しました。
10	江口委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	「くらしの安全・安心を確保します」にある「県は、地震防災対策の抜本的な見直しを行う」を「M9の地震が起きても、生活基盤が確保できるように地震防災対策の抜本的な見直しを行う」と修正して、具体的な内容を記述したらどうか。	地震防災対策については、被害の軽減に向けた取組みを着実に進めることが必要と考えており、具体的な施策の内容については「大規模災害などに備える災害対応力の強化」のプロジェクトに記載しておりますが、より県民に分かりやすい記載を今後検討します。

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
11	青木委員	基本構想	政策展開の基本的視点	11	地域コミュニティをいかに強化していくのか、現実を踏まえた対策を示す必要がある。	地域コミュニティの機能の弱体化については、子育てや教育、高齢者や障害者のくらし、防災・防犯、まちづくりなど様々な分野に影響を与える重要な課題としてとらえています。地域コミュニティの強化の取り組みの中心は市町村と考えていますが、県としても、プロジェクトを通じて一つひとつの課題を解決することにより、地域コミュニティの新たなしくみづくりに取り組んでいきます。
12	藤井委員	基本構想	政策展開の基本的視点	12	「少子化・高齢化への対応を進めます」の中にある「団塊の世代が多いこともあり」を「他県より人口における団塊の世代率が高いこともあり」と修正して、特記するべきではないか。	団塊の世代の人数は全国3位となっていますが、総人口に占める団塊の世代の割合は全国平均以下となっています。
13	齋藤委員	基本構想	政策の基本方向	12	「県民との協働・連携を強化します」にある「県民総力戦」は、「県民の力を挙げて」、或いは「県民のもつ多様な力を結集して」のいずれかに修正したらどうか。	「県民総力戦」の表現については、知事の掲げるメッセージのひとつであることから、県民へのメッセージとして記載しています。
14	藤井委員	基本構想	政策分野の基本方向 (エネルギー・環境)	13	2025年に向けてのところで、「丹沢大山や水源の森林」を「丹沢大山や水源の森林、地域の里山」と修正したらどうか。	ご意見を踏まえ、記述を「丹沢大山や水源の森林、里地里山」と修正しました。
15	江口委員	基本構想	政策分野の基本方向 (安全安心)	15	安全・安心の「大規模な災害などへの対応力の強化」にある「津波被害対策を強化」の部分、具体的な内容の記述にしたらどうか。	ご意見を踏まえ、津波避難路や避難場所の整備・確保について記述を追加しました。また、詳細な施策の内容については、実施計画の「津波被害を軽減する対策の強化」のプロジェクトに記載しています。
16	齋藤委員	基本構想	政策分野別の基本方向 (産業労働)	18	社会保障の充実が雇用を生みだしていくという部分を強調する必要がある。	社会保障制度全体の方向性については、国において方針を定めていくものであることから、県においては、県内産業の活性化による雇用の創出や就労、就業支援による雇用促進に取り組んでいます。
17	大久保委員	基本構想	政策分野の基本方向 (健康福祉)	19	健康・福祉の「高齢者や障害者が地域で安心してくらするしくみづくり」の1つ目にある「保健・福祉サービス」を「保健・医療・福祉サービス」に修正して、医療も含めた隙間のないサービスを強調したらどうか。	ご意見を踏まえ、記述を修正しました。

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
18	藤井委員	基本構想	政策分野の基本方向 (健康福祉)	19	保健・福祉の分野に、予防医学の観点からも高齢者のスポーツ活動を促進し健康増進に努めるような文言を加えるのはどうか。	スポーツによる健康の維持については、年代を限らずライフステージに応じた活動を推進していることから、「県民生活」の項目に記載していますが、生活習慣病の予防のための適度な運動などについて、「健康・福祉」の項目に記載していますが、ご意見を踏まえ、スポーツ振興のプロジェクト名を「健康で豊かな人生を築くスポーツ振興」と変更したうえで、位置づける柱を「いのちが輝き誰もが自分らしくくらす社会づくり」に変更しました。
19	大久保委員	基本構想	政策分野の基本方向 (健康福祉)	20	健康・福祉の「地域における保健・医療体制の整備」の2つ目にある「患者の視点に立った良質な医療を提供するために」を「患者の視点に立った良質な医療を、住み慣れた地域で提供するために」に修正して、ローカルな視点を強調したらどうか。	ご意見を踏まえ、記述を修正しました。
20	池本委員	基本構想	政策分野の基本方向 (教育子育て)	21	乳幼児、子ども、若者、青少年という言葉が混在しているため、用語の定義をする必要があるのではないか。	用語については、法律や条例などの規定により使い分ける場合がありますが、概ね、乳幼児＝0～6歳、子ども＝18歳未満、若者＝30歳代まで、青少年＝18歳未満として記述しています。
21	青木委員	基本構想	政策分野の基本方向 (県民生活)	23	少子高齢化、低成長の中において、新しい公共(共助、互助)が求められているので、ソーシャルビジネスを推進する政策が必要である。	多様な主体が協働・連携して公共を担う社会の実現に向けて、地域の課題解決に取り組むNPOへの支援などに取り組んでおり、「政策分野の基本方向」の(6)県民生活に記述しています。 また、NPO活動の充実に向けて、NPOへの寄付を促進する制度や人材育成、企業との協働の促進などを「NPOの自立的活動と協働の推進」のプロジェクトに位置づけています。
22	藤井委員	基本構想	政策分野の基本方向 (県土・まちづくり)	25	県土・まちづくりの「総合的な交通ネットワーク形成の推進」にある「複数の移動手段」を「環境にやさしく健康的な自転車を含め複数の移動手段」と修正するのはどうか。	「複数の移動手段」としては、公共交通機関を確保する施策などを展開していることから、記述を分かりやすくするため、「公共交通機関など複数の移動手段や経路の確保、利便性、快適性、安全性の向上を図るとともに、誰もが自由に移動できる交通環境の充実を図ります。」と修正しました。
23	藤井委員	基本構想	地域づくりの基本方向 (三浦半島)	29	国営公園誘致については地元反対者も多いため、「三浦半島地域圏における政策展開の方向」にある「国営公園誘致や大規模な緑地の保全」を「大規模な緑地や里山の保全」と修正するのはどうか。	国営公園誘致については、三浦半島に残された素晴らしい自然環境を保全・活用するため、県も「三浦半島国営公園設置促進期成同盟会」に参加して誘致に取り組んでいることから、地域の基本方向として記述しています。

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
24	藤井委員	基本構想	神奈川をとりまく社会環境	42	「情報化の動き」のインターネット利用状況の参考として、県HPから情報を入手する率のグラフ（HPの閲覧数や申請書のダウンロード数など）などを掲載してはどうか。	ご意見を踏まえ、「電子申請・届け出サービスの利用件数の推移」を示すグラフを掲載しました。
25	齋藤委員	基本構想	神奈川をとりまく社会環境	43	企業の生産拠点の海外移転は「電力不足」よりも「円高」による影響が大きいのではないか。	ご意見を踏まえ、円高に関する記述を追加しました。
26	藤井委員	基本構想	神奈川をとりまく社会環境	44	農林水産業における担い手の多様化といっても実感がわからないので、それを表す数値グラフなどを載せたらどうか。	農林水産業の担い手の多様化については数値化は困難ですが、ご意見を踏まえ、文章中に事例を記述しました。
27	齋藤委員	基本構想	神奈川をとりまく社会環境	50	「若者をめぐる状況」にあるフリーターは、表現の仕方を検討する必要がある。	「フリーター」については、現行計画でも用語として使用しております。

総合計画審議会計画策定専門部会の意見と対応

参考資料 1

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
28	青木委員	実施計画	PJ4	12	災害時の避難訓練は、避難所に集まるのではなく、隣近所を意識した方法に変えるべきである。	地域における避難訓練などは、市町村を中心として実施していますが、各市町村において、避難先などについても工夫した訓練を実施しています。
29	江口委員	実施計画	PJ4	12	「大規模災害などに備える災害対応力の強化」の位置づけ順について、冒頭に位置づけることを検討する必要がある。	実施計画の柱及びプロジェクトの順番については、今後も検討していきますが、喫緊の課題である電力不足に対応したエネルギー政策にまず取り組むこととしているため、大規模災害への対応については2つめの柱に位置づけています。
30	江口委員	実施計画	PJ4	12	帰宅難民対策をプロジェクトとして入れることを検討したらどうか。	ご意見を踏まえ、帰宅困難者対策について、「東日本大震災を踏まえ顕在化した課題への対応」として、「大規模災害に備える災害対応力の強化」のプロジェクトに位置づけました。
31	青木委員	実施計画	PJ4	12	帰宅困難者対策、公共、民間施設の利用策、各種避難訓練の繰り返し実施等も重要である。	
32	笹生委員	実施計画	PJ4	12	食品の安全管理については、放射能の自主検査や除染検査を県の基準で行うなど、県の独自性を打ち出すとともに、測定結果の広報活動などを通じて、県民を安心させる取組みを検討する必要がある。	食品などの放射能測定については、「放射能測定調査の実施、結果の周知」として、「大規模災害に備える災害対応力の強化」のプロジェクトに位置づけています。また、測定結果については、ホームページ等を通じて随時周知に努めています。
33	齋藤委員	実施計画	PJ4	12	神奈川県が、引き続き被災地に対して有効な支援を継続していくという、打ち出しを検討する必要がある。	東日本大震災の被災地・被災者への支援については、「大規模災害などに備える災害対応力の強化」のプロジェクトに位置づけております。
34	青木委員	実施計画	PJ5	13	子どもへの性犯罪、青少年の薬物犯罪への対策を講じる必要がある。	子どもを犯罪から守る取り組みについては、「犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり」のプロジェクトに位置づけていますが、ご意見を踏まえ、記述を分かりやすくするため、主なの取り組み内容の記述を「女性、子ども、高齢者等の社会的弱者を犯罪等から守る取組み」と修正しました。
35	澤島委員	実施計画	PJ5	13	犯罪を犯した者の社会復帰の視点が不足しているのではないか。	犯罪者の社会復帰は、国において指導監督を行うものであり、県では、こうした更生保護事業を支援していますが、側面支援の立場であることから、総合計画への位置づけはしておりません。
36	大久保委員	実施計画	PJ6	15	「高齢者が生き生きとくらす社会づくり」の目標ですが、本来、施設に入らず在宅でのケアが充実されることが真の目標なので、例えば、75歳以上人口に占める要介護5の割合などを検討したらどうか。	ご意見を踏まえ、在宅ケアの充実を示すような指標について、今後検討します。

総合計画審議会計画策定専門部会の意見と対応

参考資料 1

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
37	江口委員	実施計画	PJ6	15	「高齢者が生き生きとくらす社会づくり」の数値目標として、在宅サービスの供給目標を検討したかどうか。	ご意見を踏まえ、在宅ケアの充実を示すような指標について、今後検討します。
38	江口委員	実施計画	PJ6	15	「高齢者が生き生きとくらす社会づくり」の主な取組内容では具体的な内容が不明なので、表現の工夫を検討したかどうか。	ご意見を踏まえ、取組内容の記載について、なるべく具体的な記述となるよう修正しました。
39	大久保委員	実施計画	PJ7	16	「県民が安心できる保健・医療体制の整備」の目標はアウトカム指標としては年齢調整死亡率が望ましい。それが難しい場合でも、看護職員数ではなく医師数の方が比較的好いのではないか。	年齢調整死亡率は、県の施策の効果を反映する中間的アウトカム目標ではなく、最終アウトカム目標と考えられ、目標設定は困難と考えています。 また、県内の医師数については、診療科による偏在はあるものの年々増加しており、看護職員の方が全国最下位と不足している実態があるため看護職員数を目標としています。ご意見を踏まえ、目標設定の背景について、目標の説明を修正しました。
40	藤井委員	実施計画	PJ7	16	「県民が安心できる保健・医療体制の整備」のねらいに「長生きしてよかったと思える日本一の医療体制の確立」は違和感があるので、内容を再検討する必要がある。	「日本一の医療体制の確立」については、知事の掲げる政策のひとつであることから、県民へのメッセージとして「ねらい」に記載しています。
41	藤井委員	実施計画	PJ7	16	健康増進には運動も不可欠であるため、「県民が安心できる保健・医療体制の整備」の中に「高齢者スポーツを奨励」する取組を加えるべきではないか。	スポーツによる健康の維持については、年代を限らずライフステージに応じた活動を推進していることから、「健康で豊かな人生を築くスポーツ振興」のプロジェクトに記載しています。
42	藤井委員	実施計画	PJ7	16	「県民が安心できる保健・医療体制の整備」の数値目標として、医療費削減を検討したかどうか。	医療費の削減については、「神奈川県医療費適正化計画」を策定し、取組を進めていますが、プロジェクトのねらいを反映する目標とは考えにくいいため、目標として設定することは困難です。
43	藤井委員	実施計画	PJ9	18	「障害者の地域生活を支えるしくみづくり」の数値目標として、障害者が社会参加をしている率を検討したかどうか。	「障害者の地域生活を支えるしくみづくり」の数値目標として掲げた「グループホームなど地域で生活する人の数」は、障害者が地域社会に参加するという趣旨で掲げていますが、より分かりやすくするため、目標の説明を修正しました。
44	澤島委員	実施計画	PJ9 PJ23	18 37	「障害者の地域生活を支えるしくみづくり」の構成事業である「社会参加や就労の支援」ではあいまいなので、一般就労、福祉的就労、社会参加といった明確な区分けをする必要があるのではないか。	障害者の就労支援について、福祉的就労については、「障害者の地域生活を支えるしくみづくり」のプロジェクトに位置づけ、一般就労については、「産業人材の育成と就業支援の充実」のプロジェクトに位置づけております。

総合計画審議会計画策定専門部会の意見と対応

参考資料 1

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
45	藤井委員	実施計画	PJ10	19	「こころとからだを育てるスポーツ振興」の数値目標として、高齢者スポーツ優秀表彰者数を検討したかどうか。	県では、高齢者を対象としたスポーツ表彰は実施していないため、数値の把握が困難です。
46	江口委員	実施計画	PJ11	21	「子ども・子育て応援社会の推進」の主な取組内容にある「子育て支援の機運の醸成」では具体的な内容が不明なので、表現の工夫を検討したかどうか。	ご意見を踏まえ、「主な取組内容」のバーチャートの記述を修正しました。
47	池本委員	実施計画	PJ11	21	県民から見ると、乳幼児の保護者にとってどんな施策があるのかという記述の方が分かりやすい。例えば、図書館についても乳幼児に配慮するなど、もう少し記述の工夫ができないか。	乳幼児などを対象とした直接的な支援は市町村の役割であり、県は、子育てをしやすい社会のしくみづくりに重点をおいて「子ども・子育て応援社会の推進」のプロジェクトをまとめています。このプロジェクトの中で、子ども連れで外出しやすいまちづくりを推進していますが、ご意見を踏まえて、プロジェクトの記述を修正しました。
48	齋藤委員	実施計画	PJ11	21	保育の拡充が少子化に対して有効であるということを強調する必要がある。	子育てを支える社会環境の整備に向けて、保育所の受け入れ体制の充実などについては「子ども・子育て応援社会の推進」のプロジェクトに位置づけております。
49	笹生委員	実施計画	PJ13	23	「明日のかながわを担う人づくり」の数値目標にある「自己成長できたと感じる生徒の割合」は、個人の感覚によるものなので、目標としてインターンシップやボランティアの経験者数などを検討したかどうか。	この数値目標は、キャリア教育を受けた高校生へのアンケート結果により算出するもので、県の施策の成果を県民が実感できたかどうかという観点で、中間的アウトカム目標として適切なものと考えています。
50	青木委員	実施計画	PJ15	27	観光客増の数値目標として、客数ではなく地域の所得効果(観光収入)を検討するべきである。	観光収入額については地域経済の活性化という視点で重要と考えておりますが、数値の把握が困難であるため、人を引きつける神奈川の目標として観光客の増加を目標としています。
51	青木委員	実施計画	PJ22 PJ23	36 37	雇用創出策として、若年者への雇用対策は最優先に取り組むべきである。 また、正規、非正規社員等の雇用情勢を踏まえ、格差問題対策や新しい働き方について具体策を示す必要がある。	若年者の雇用対策については、「産業人材の育成と就業支援の充実」のプロジェクトにキャリアカウンセリングやセミナーなどの取組みを位置づけています。 また、「国際競争力のある産業の創出・育成」に位置づけた産業振興施策の展開によって県内に成長産業を集積することにより、産業の活性化を図り、雇用創出を図ることをめざしています。
52	青木委員	実施計画	PJ23	37	生産年齢人口が縮小する中で、高齢者雇用等についての具体策を示す必要がある。	中高年齢者への就業支援については、「産業人材の育成と就業支援の充実」のプロジェクトに取組みを位置づけ、再就職支援などを行います。

総合計画審議会計画策定専門部会の意見と対応

参考資料 1

(素案のたたき台に対する部会委員からの意見)

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応
53	藤井委員	実施計画	PJ24	37	「かながわの特色を生かした農林水産業の展開」の数値目標として、農・林・水に分けた就業者数にすることを検討したらどうか。	農業・林業・水産業のそれぞれの就業者数の内訳数値は把握していますが、農林水産業全体の活性化を目指すという視点で一つの目標としています。白書等においてはその内訳をあわせて分析することを検討していきます。
54	藤井委員	実施計画	PJ25	39	「地域の活力を支える交通基盤の整備」の取組みにある「環境共生モデル都市圏の形成」は別のプロジェクトに整理するべきではないか。	「環境共生モデル都市圏の形成」の取組みは、新幹線新駅の誘致など交通基盤の整備とあわせて行うものであるためこのプロジェクトに位置づけていますが、ご意見を踏まえ、「地域の活力を支える交通基盤の整備」のプロジェクト名を「活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実」と修正しました。また、構成事業の「環境共生モデル都市圏の形成」についても、「魅力あるまちづくりの推進」と修正しました。
55	藤井委員	実施計画	PJ25	39	「地域の活力を支える交通基盤の整備」のねらいにある「環境と共生する都市の形成」を、「環境と共生する交通システムの形成」に修正したらどうか。	当該プロジェクトは、まちづくりと交通ネットワークの整備の施策をまとめたプロジェクトであり、「環境と共生する都市の形成」は、まちづくりのねらいを示したものです。ご意見を踏まえ、より分かりやすく伝えるため、プロジェクト名を「活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実」に、ねらいを「利便性が高く活力ある県土の形成」に修正しました。
56	藤井委員	実施計画	PJ25	39	「地域の活力を支える交通基盤の整備」の取組みとして「自転車利用促進のためのシステムづくり」を検討したらどうか。	県では、自転車の利用をさらに促進するしくみづくりには取り組んでいませんが、さがみグリーンラインなどの堤防を利用した自転車専用路の整備を行っています。
57	笹生委員	実施計画	主要施策	41	県政として、対応すべき課題についても肅々と進めていく必要がある。	行政が着実に取り組むべき施策については、主要施策として政策分野別に整理し、掲載しています。